

# 令和5年産減・減夢つくし

(5月13日 播種)  
(6月5日 田植え)

# 栽培暦

北九州普及指導センター  
J A 北 九

月別	4				5			6			7			8			9		
	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
水管理																			
生育ステージ																			
管理のポイント	<p><b>種子消毒 (温湯消毒) 60℃ 10分</b></p> <p>● レンゲ・菜の花鋤き込み</p> <p><b>りん酸・苦土の補給に リンスター30 30 kg</b></p> <p><b>&lt;基肥&gt; (一発肥料)</b> 有機エムコート256 または 新スーパーユークン1号 60 kg 40 kg</p> <p><b>移 植</b> 深植防止</p> <p><b>溝切り</b></p> <p><b>&lt;追 肥&gt;</b> スーパーユークン3号 35 kg</p> <p><b>最も水が必要な時期</b></p> <p>○ 土づくり ○ (ヒメトビウンカ対策) ○ 収穫後早めの耕起 ○ 落水はなるべく遅く</p> <p>堆肥投入 又は アツミンの投入 2 t 40 kg ミネラルG 200 kg</p> <p>倒伏防止・病害虫対策に、けい酸加里の使用をお勧めします。 基肥時40kg又は、中干し時20kg</p>																		
病害虫	<p>ばか苗病、いもち病、ごま葉枯病、シンガレセンチュウ</p> <p>苗立枯病、白カビ</p> <p>イネミズゾウムシ、葉いもち・ウンカ</p> <p>スクミリンゴカイ</p> <p>葉いもち</p> <p>縞葉枯病</p> <p>ヒメトビウンカ</p> <p>カメムシ</p> <p>穂首いもち、ウンカ類、紋枯病</p> <p>《特徴》 ☆ 夢つくしはいもち病に弱いので、いもち病の常発地や野菜後等での栽培は避ける。 ☆ 倒れやすい傾向にあるので、過剰施肥にならないよう注意する。 ☆ 穂発芽しにくい。 ☆ 食味が良い。</p>																		
防除農薬	<p><b>種子消毒 温湯消毒</b> ● 種子消毒 温湯消毒</p> <p>※ 浸漬後しっかりと風乾させ、※ 少量の水での規定水量と混合に練り、</p> <p>ベンレート水和剤</p> <p><b>箱剤</b> 防人箱粒剤</p> <p><b>初中期一発除草剤</b> ガンガン豆つぶ 250 ガンガンジャンボ ガンガン1キロ粒剤</p> <p>※ 移植後落水・田面の均一化</p> <p>スクミンベイト3</p> <p>※ 野菜後や高温多雨時は注意 ※ 発生が無い場合確認 ※ 病斑が確認された場合は防除 ※ 昨年縞葉枯病の発生圃場は注意 ※ 除草剤(補正) アトトリ豆つぶ 250</p> <p><b>必須①</b> 粉剤 ダブルカットバリダ トレボン粉剤3DL</p> <p>液剤 ダブルカットバリダフロアブ トレボンEW</p> <p><b>必須②</b> カメムシ剤 スタークル豆つぶ アルバリン顆粒水溶剤 アルバリン粉剤DL ※ 出穂後の畦畔除草はしない</p> <p>《注意事項》 ☆ 稲の開花期防除については、ミツバチへの影響が考えられますので、散布時期にご注意願います。 ☆ 散布時期 必須①は、出穂前に散布願います。必須②は、出穂10日頃が散布基準となります。 ※ 開花直前から開花後2週間は、ミツバチへの影響回避の為、農薬の散布をしない! 農薬散布時はドリフトに注意する!</p>																		
成分数	<p>① ③ ② ② ② ① ① ① ① ①</p> <p>左の成分数の合計が10成分以下</p>																		